

洛友会会報

京都大学工学部電気系教室内
洛友会
京都市左京区田中大塚町49
075-701-3164

洛友会新会長に就任して

会長 大谷 泰之



平成4年6月27日ホテル京阪京都で開催された関西支部総会後の本部総会において、小生は本洛友会の新会長に就任させて頂くこと

になりました。前会長松田長三郎先生は昨年2月16日97才の高令で逝去されましたことは会員の皆様、ご承知の通り

りであります。その後小生は会長代行を務めておりましたが、本年2月1日開かれた役員会で新会長に推戴される案が了承され、会則第7条(会長および副会長は総会において推戴し、その任期は2年とし重任を妨げない)により今回の総会で正式に新会長の推戴を受けすることになった次第です。

さて本洛友会は昭和27年11月23日創立され、初代会長鳥養利三郎先生は約23年間会長を務められ本会の今日の隆盛の基礎を築かれましたが、先生の逝去(昭和51年9月24日)に伴い、昭和51年より松田長三郎先生が第2代会長になられて昨年逝去されました。

本会は京大関係の同窓会の中で組織や各種の事業等の点で最も活動して来た同窓会であると評価されてはいますが、この発展は全く両先生ののご尽力の賜と感謝しております。この様な洛友会の3代目会長をお引受けしますことは誠に光栄であると共に、前会長松田先生より20才位後輩の小生はその責任の重大さを痛感している次第です。

小生は本会創立以来幹事や副会長を近藤文治副会長兼常任幹事と共に務めて来ましたとは言え、本会の顧問にはそうそうたる諸先輩がおられますにもかかわらず、今

回3代目の会長に就任させて頂くことになった訳です。

次に本会の創立以来約40年を回顧しますと、昭和59年3月に刊行された洛友会創立30年史、これは主として近藤文治常任幹事のお世話で刊行されましたが、その48頁に会報創刊号に掲載されている鳥養先生の挨拶文中に本会の結成の趣旨が述べられています。要約しますと、永い人生において人と人とのつながり程大切なものはなく、外国の大学に比べて我が国の大学では同窓会は殆んど顧みられていないこと、同窓会は卒業生の世代を超えた縦の連絡・強調・懇親に主力を置くべきであること、また食事はパーティー形式にして自由に誰とでも談笑できるようにしたい等と述べられています。

尚明治42年に電気工学部懇話会が誕生、その名簿も発行されるようになり、戦後の昭和23年10月電気工学科創立50周年記念後援会の募金と関係会社の広告掲載料等により懇話会名簿が復刊され、また一方東京および関西地域で夫々大正6・8年および大正14年卒業生を中心とするクラス会等が盛んに活動するようになり、これらクラス会の肝入りで鳥養先生を会長にいただき、名称を洛友会とする同窓会組織が発足しました。また鳥養先生が理事長をされていた応用

科学研究所の常任理事山村忠行(大6卒)が教室の教官の援助を受けて事務処理に当られた。

洛友会の事業として総会等会合の開催、会報や名簿の発行配布、各支部活動や懇話会の援助等の活動が行われて来ました。洛友会の事業を援助し、より活動を盛んにするため、全国に9つの支部が相次いで結成されました。即ち本会創立直後の昭和27年12月に中部支部、翌年2月に東京支部、同年4月に関西支部、同年10月に九州支部、同年12月に中国支部、更に29年5月に北陸支部、同年10月に北海道支部、31年7月に四国支部、41年6月に東北支部が順次結成されました。一方大正2年創設された電気工学講習所卒業生も昭和33年洛友会の会員として受け入れられることになり、また講習所卒業生の全国的組織として洛友デルタ会が31年6月結成され、盛んな活動を行っていることはご承知の通りであります。

以上が洛友会の発足の経緯であります。以上が洛友会の発足当時(一一一名)居所判明(二二三五名)でありましたが、58年には五四二六名(居所判明四二三八名)講習所は一八〇名(居所判明四二三名)に増加しました。洛友会の最重要事業、会員名簿の発行については、28年10月に初めて発行され、57年度版

から以後隔年発行となり、58年度には創立30周年記念事業の一つとして名簿のコンピュータ処理が完成しました。また会報関係は昭和28年8月第1号が創刊され、59年1月号から、それまでの隔月発行から年4回の季刊となり今日に至っています。ちなみに平成4年7月号は160号となり、五四〇部発行され会員全員に配布されています。

また会費は発足当時本部会費三〇〇円プラス支部費一〇〇円で、会費納入率は87%と極めて高い数字であったものが、創立30周年頃は55%と低下、昭和50年頃会費は本部三三〇〇円支部七〇〇円になり、その後約10数年据置かれていましたが、昨年から本部三〇〇〇円支部一〇〇〇円に値上げのやむなきに至りました。ここで改めて会員の皆様は何卒ご協力くださいますようお願い申し上げます。

以上述べました通り本洛友会は鳥養、松田両会長のご尽力と協力と会員、役員の皆様のご協力と援助によって順調に発展を続けて参りました。この度第3代会長をお引受けした小生は本年79才、松田先生より20才若輩であります。私事を申し上げるのは甚だ恐縮ですが、数年前より有病息災で、所謂成人病(高血圧、貧血症、腰痛等)特に昨年は腰痛で東京、関西および

中部支部総会のみ漸く出席出来たような次第、本年は5月下旬の中国、九州から6月になって東京北海道、関西と本部、更に7月初旬東北、各支部の総会に漸く出席出来るようになりました。このように小生は健康上から考えても会長の任に耐えられるかどうか誠に心もとなく思っています。

ご承知の通り現今国内外の政治経済、産業、教育その他地球環境問題等各方面で大激変大変革の時代となってきました。また各界で世代交替、若返りの時流が目立つようになってきました。洛友会もこのような時代に対応して運営して行かなければならないと考えています。

尚小生には洛友会以外に故松田先生から受け継いだ(財)近畿地方発明センターの理事長や電気評論社社長の仕事もあり、特に発明センターには20数年前からの課題である立退請求訴訟問題があり、小生は目下原告としてその解決に全力を傾注していますが、それも近く和解解決出来る見込みがついているとは言え精神的に大きい重荷となっております。

一方洛友会の後継者については心配する必要もない状態です。以上述べた如く、小生は終身会長というような重荷には到底耐えられそうになく、せいぜい二、三

期程は何とか重責を果たしたいと考えていますが、適当な時期に適任の後継者と交代させて頂きたいと敢えてこの機会に述べさせて頂きます。

終りに先般開催された本部総会の内容については本会報7月号に掲載されております通り決定いたしました。

特に会費値上げに伴い納入率は若干減少いたしました。会費納入については若い方々にも何卒よろしくご協力をお願い申し上げます。更に昨年末の名簿発行時には広告募集に各支部の支部長はじめ役員の方々のご尽力を頂きお蔭さまで合計一〇〇万円を超える収入があり心から感謝申し上げます。尚また本会の運営にご尽力頂きました事務局の応用科学研究所近藤文治副会長、矢木原常任幹事に厚くお礼申し上げます。

会員寄稿

小宮義和君の思い出

田中卓次 (昭15卒)

洛友会会報にて同期生の小宮君が平成4年2月24日ご逝去されたことを知った。残念であり、淋しくて悲しい。

欄筆に当り会員の皆様の益々のご健勝とご活躍、ご多幸および各支部のご発展を心からお祈り申し上げます。

スナップ
筆者撮影の平安神宮神苑の花菖蒲の池



をされた後、一時目覚められたが少し頭痛がして起きられず救急入院、手当を受けられたが効なく、永遠の眠りに入られた由。ご家族の皆様には痛恨の極みであるが、殆んど苦痛もなく他界されたことは、せめてもの慰めであると思いたい。

昨年の暮、鳥羽国際ホテルより小宮君の声で「田中君元氣か、小宮だ、是非もう一度伊勢神宮に参りたくて娘と共に来た。昨日参宮して鳥羽国際ホテルに泊った。これから帰るところだ。声だけでも聞きたくて」との電話を受けたが、面会に行く時間が無く返す返すも残念であった。

小宮君との出会いは大学に入ってからである。高校も異り、実験の組も異っていたので学生時代には特別の深交は無かった。大正14年大学の夏季実習で東京に居る者で小宮、近藤、水谷と私の4名で盆休み中に、日光、中禅寺湖に遊び、奥日光の湯元まで歩いたことがある。当時は皆健脚であった。

また大正15年大学の卒業式の当夜、学生会の招待で祇園の中村楼に出席した時、列席の石川芳次郎氏(後の京都電燈社長)に鳥養先生と共に小宮君と私が二次会に案内して頂いた。今後社会人となればかかる経験も必要との配慮からと

奥様のお話によると、本年になつても一日も臥することなく、毎日書齋で読書に過しておられた。前日の23日も昼食後は日課の昼寝

思い、有難たくお伴したことがあ
る。

昭和27年の夏、鳥養先生が2期
6ヶ年の京大総長職を終えられた
時、小宮君当時日立製作所取締
役(大阪営業所長)の発案で、先生
の慰労を兼ね、同期の前田君当
時(近鉄車両部長)と私の3名で先
生を志摩観光ホテルに招待した。

翌日真珠王の御木本幸吉翁(当
時94才)を多往島の御木本真珠工
場に表敬訪問して、翁より真珠の
養殖に関し夢の如き考察を聞いた。
この能否は別として、老いても尚
職業意識の旺盛なことに敬服して
辞去した。

小宮君の博学達筆には敬服して
いる。多く読まねば書けないだろ
う。各所に投稿した多くの随筆を
編集して出版されている。私の頂
いたものだけでも次の如く多量で
ある。

- なにわの芦 昭32年11月発行
- 俗曆略弁 昭37年9月発行
- むさし鑑 昭38年9月発行
- 出雲俗説弁 昭45年8月発行
- 榴隠独語 昭46年10月発行
- 榴隠統語 昭54年9月発行
- 榴隠元語 昭59年12月発行
- 關々集(和歌) 昭41年9月発行
- 夫人と共著

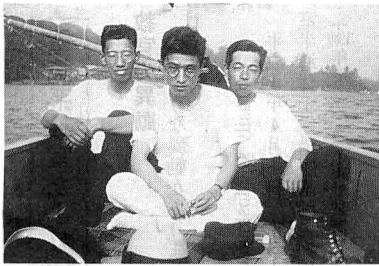
以上思い出すままに書いたが小
宮君の思い出に欠かせないのは十
四日会である。これは京大電気科

を大正14年卒の一本松君と木津君
に15年卒の小宮君等が主唱して毎
月14日に大阪の電気クラブに集合
して懇親の昼食会である。昭和25
年の初めより行なわれ、事務は関
西電力(株)にお願している。

私は昭和29年7月より大阪営業
所駐在(約一ヶ年)となつて以来、
小宮君の薦めもあり極力出席した。
この頃、小宮君は写真に熱中して
いた。私も時々写して頂いた。小
宮君は「自分は酒が飲めないので
営業の職柄、写真を送ることで認
識を深めている」とのこと。職務
に忠実なことに敬服した。

この昼食会より14年卒組と15年
卒組のみによる合同クラス会が生
れ、昭和36年以来毎年夫婦同伴で
2泊3日の全国的十四日会の旅行
会が始まった。

小宮君は昭和32年日立電線(株)
の常務取締役に、昭和38年同社副



大正14年8月 日光中禪寺湖上
左より 小宮 水谷 近藤

社長に昇進、東京移住後も十四日
会の幹事として尽力されていた。
時にはクラス会開催地の特筆すべ
き観光資料をプリントして頂いた
ものである。この思い出の多い全
国的十四日会も年々会員減少して
平成元年の第29回保津川下りを最
後に解散せざるを得なくなり残念
なことであるが毎年連続29回も開

わが人生七十五年

四国支部

中川修一郎 (昭15卒)

私は、大正5年12月31日夜8時、
土佐の須崎という港町で生まれた。
父がクリスチャンでその通り届出
たので、翌元年には昔流で2才の
赤ん坊となった。

小学校時代は海、川、山を遊び
まわった。6年生の時、母が36才
の若さで、今なら必ず直る病気で、
私と2人の幼い妹を残して亡くな
ったが、生まれて始めて無精に悲
しくさびしかった。

中学は高知市の土佐中(土佐高
は後に併設され、甲子園ではその
昔、全力疾走で名を上げ、松山商
との優勝戦で惜敗したことあり)
で、5年生の後半より一生懸命勉
強し、三高に入学したが君はや
さしく涙はあまい十九の春のこと
でした。今思うとあの時の勉強を

催出来たことは満足すべきだと思
っている。

省みれば小宮君とは大正12年よ
り平成4年まで、69年間の長期、
良き交友であった。この間に種々
教えられ、かつお世話になった。
ここにも更めて厚くお礼申し上げ
君の冥福をお祈りします。 合掌

ずっと続けていたら、もう少しま
しな人間になっていたのかなあ。
三高では剣道部に入り、2年の
時京大主催全国高専剣道大会(先
鋒から主将まで10人のチームで三
本勝負勝ち抜き戦で優勝し、皆
んなと吉田山麓を凱歌を高唱しな
がら帰宿した感激は、我が青春時
代のハイライトだった。

京大電気を卒業したのが昭和15
年春で、沖電気に割り当てられ、
約半年間、田町工場で、電波標定
器の性能向上に、毎日深夜まで実
験を繰り返していたが、その年の
夏、徴兵検査を受けて第一乙合格
その冬朝鮮平壤の高射砲隊に入っ
た。そして平壤―京城―会寧―釜
山と、足掛け6年間朝鮮ばかりに
いたが、その間2回命拾った。

一回目は京城の時、部隊は南方
へ出動し、ラバウル上陸直前、輸
送船が撃沈されたが、私は幹候と
なり千葉の防空学校へ派遣されて
いたので助かった。二回目は戦争
末期で釜山の時、又部隊の南方行
きが決まっていたが、今度は船が
無くて、市東方の山上防空陣地で
待機中、天皇の終戦に関するラジ
オ放送が流れて、まことに万感胸
に迫る思いであった。

国破れて山河あり。弧影悄然と
して故郷に帰り、東京には住めな
いので沖を退社して約一年間、芋
作りや鮎釣りなどで心身を癒し、
昭和21年秋、電力の前身たる四国
配電に入社し、水力発電、送、変、
給電業務に専念することが出来た。
昭和47年電力定年退職後は、新居
浜工専に招かれたが、教えること
のむつかしさを痛感したものであ
る。又洛友会四国支部長を6年間
務め、去年辞任したが、その間は
故松田先生、大谷先生、近藤先生
故竹村さんには大変お世話様にな
りました。

昭和62年春からは職をはなれ、
百坪の家庭菜園、へば菘、図書館
通いなどで過ごしていますが、今
年末で丁度75才、蹉跎たり白髪の
年となり、ある日ある時、ふと生
命のことなどを考えたり致します。
本年初他界された禅宗界の長老
で天竜寺の関牧翁師は、来世はあ

るか問われた時、行ったことが無いからわからないと答えたとのことです。これには孔子の、我々まだ生を知らず、いづくんぞ死を知らんやとの言と一脈相通するものを感じます。

信は力なりと言われますが、神秘的なことを素直に信ずることの出来る人は、しあわせだなあと思えます。ゲートとカントは、来世の存在を信じていたが、マルクスは勿論信じなかった。パスカルはどうせ判らないことだから、存在に賭ける方がよからうとの考え方だった。さて凡人たる私は、この年になってまだ、心の持ちようが定かならず、情けない次第ですが、何かいい情報はございませんでしょうか。

末筆ながら皆さんのご健康とご多幸を祈ります。

(平成3年9月記)

大学の動き

名誉教授称号授与式

平成4年4月6日(月)AM10時30分、名誉教授称号授与式が、京大大会館において挙行された。称号を授与された方で洛友会関係者は次の2名である。

- 加藤 進(超高層電波研究センター)
- 若林二郎(原子力エネルギー研究所)

電気系教室だより

教官の異動

次のような異動がありました。

Vasily G. Moshynaga

平成4年4月1日、電子工学第2教室半導体工学講座講師に採用。
(1980年センバストポリ装置製造大卒)

奥村浩士

平成4年4月1日、電気工学第2教室助教より同、電気回路工学講座教授に昇任。

(昭和41年電気工学科卒)

北野正雄

平成4年4月1日、電子工学教室講師より同、高周波工学講座助教に昇任。

(昭和50年電子工学科卒)

乾 義尚

平成4年4月1日、電気工学教室助手より同、電気磁気学講座講師に昇任。

(昭和56年電気工学科卒)

笠原慎也

平成4年4月1日、電気工学第2教室助手に採用。
(平成元年電気工学第2学科卒)

平成3年度電気系教室卒業生の進学就職状況

電気工学教室主任 茂夫
 昭和41年卒 藤田 茂夫
 電子工学教室主任 啓吉
 昭和33年卒 田丸 啓吉
 電気工学第2教室主任 上田 院亮
 昭和34年卒

平成4年3月に卒業した学生の進学就職状況は別表の通りとなりました。平成3年度も求人数は非常に多く、電気関係の企業だけでなく、全産業分野にわたって電気系学生が要望されていました。一時世間の話題を賑わした金融関係への就職数の増加は、本年度について見る限りもとに戻ったようです。本年度もできるだけ多くの企業に就職するように指導しました。その結果は就職者116名の就職先は60社(官庁含む)になりました。修士課程への進学者は93名で、中には応用システム科学専攻へ3名、東京大学大学院へ4名が含まれています。本年も多くの先輩卒業生の皆様から学生の就職のご依頼を受けましたが、十分ご期待に沿えませんでした。お詫びとともにお礼申し上げます。

項目	学部	修士	就職先
卒業者数	143	83	
進学者数	93	15	
研究生等	1(婦)	1	
就職者数	49	67	内訳下記
就職官公庁・公務員他	1	1	通産省、NHK
電力・ガス	5	8	関西電力、九州電力、中部電力、東京電力、四国電力、中国電力、大阪ガス
通鉄鋼	1	6	日本電信電話、国際電タ
金属	2	5	新日鐵、川崎製鉄、住友金属、神戸製鋼
自動車	2	1	豊田中研、トヨタ自、日産自
機械	1	1	三菱重工、クボタ
造線	1	2	日立電機、三菱電線
電気	2	18	三菱電機、日立製作、松下電産、東芝、日電、ソニー、オムロン、住友電工、松下電工、日本電装、三洋電機、シャープ、横河電機、沖電気、日新電機、富士通、日本TI、FMSオーディオ、松下電子、星和電機、キーエンス
精密機械	1	3	キャノン、島津、富士写真フィルム
運輸	4	1	JR西日本、JR東海、阪急電鉄、日本航空
鉄道	1	1	関西日本電気ソフトウェア
銀行・商社	8	8	第一勧銀、野村総研、住友商事、三井物産、三菱商事
その他	3	2	三菱化成、電通、アンダーセンコンサルティング、サントリー
小計	49	67	

電気系教室懇話会 秋の講演会・懇親会のご案内

今年度恒例の秋期講演会を左記の予定で開催致しますので、多数のご参加をお待ちしております。

記

- 日時 10月16日(金)午後1時~7時
- 場所 京大・電気総合館中講義室
- 第一部 報告会(1~2時)
- 学生の進学・就職に関する体験談
- 第二部 先輩による講演会(2~5時)
- 1 川端昭名誉教授 富山県立大学教授(昭28卒)
- 2 中尾英夫 日本電気株専務取締役(昭30卒)
- 3 橋本安雄 関西電力(株)常務取締役(昭32卒)
- 第三部 懇親会(5:30~7時)

総会報告

平成4年度 洛友会総会

平成4年度総会は、6月27日(土)午後4時30分よりホテル京阪京都において、69名参集のもとに行われた。

今年の総会は関西支部と合同で開催し支部総会後行われた。

恒例により議長兼司会は近藤常任幹事で始まり、初めに大谷会長代行より洛友会も約五八〇〇名の会員となり、昨年は会費の値上げ、名簿広告に多大のご協力を賜ったお礼等開会挨拶をいただいた。

続いて同常任幹事より平成3年度事業報告、平成4年度事業計画、矢木原事務局長より平成3年度収支決算、平成4年度収支予算案の説明があり、次いで議長より会長推薦、役員変更の説明があり会長に大谷会長代行の推薦することを諮られた。各案件を審議の結果それぞれ原案通り可決された。なを平成3年度決算、4年度予算については別表をご参照ください。

引続いて木村教授から最近の大学の近況として、電気系学科及び関連部門の教官の異動、学部職制の動向説明と平成3・4年度卒業生の就職、修士博士への進学状況の報告があった。(詳細は本号4頁参照ください)

平成3年度収支決算

平成3年4月1日から平成4年3月31日まで

収入の部

(単位:円)

Table with 4 columns: 科目, 決算額, 予算額, 備考. Rows include 会費(学部), 預金利子, 広告掲載料, 雑収入, 収入小計, 前年度繰越金, 合計.

平成4年度収支予算

平成4年4月1日から平成5年3月31日まで

収入の部

(単位:円)

Table with 4 columns: 科目, 予算額, H3年度決算額, 備考. Rows include 会費(学部), 預金利子, 広告掲載料, 雑収入, 収入小計, 前年度繰越金, 合計.

支出の部

(単位:円)

Table with 4 columns: 科目, 決算額, 予算額, 備考. Rows include 名簿編集費, 電算処理費, 印刷費, 発送費, 会報編集費, 印刷費, 発送費, 備品費, 通信費, 会員原簿管理費, 会合費, 総会費, 集金費, 消耗費, 旅費, 懇話会補助金, 支部交付金, 事務人件費, 雑費, 予備費, 支出小計, 次年度繰越金, 合計.

支出の部

(単位:円)

Table with 4 columns: 科目, 予算額, H3年度決算額, 備考. Rows include 名簿編集費, 電算機処理費, 印刷費, 発送費, 会報編集費, 印刷費, 発送費, 備品費, 通信費, 会員原簿管理費, 会合費, 総会費, 集金費, 消耗費, 旅費, 懇話会補助金, 支部交付金, 事務人件費, 雑費, 予備費, 支出小計, 次年度繰越金, 合計.

預金及び現金

平成4年3月31日現在

Table with 2 columns: 普通預金, 定期預金, 当座預金. Values: 1,538,026, 8,000,000, 241.

郵便振替 843,160 現金 62,261 合計 10,443,688

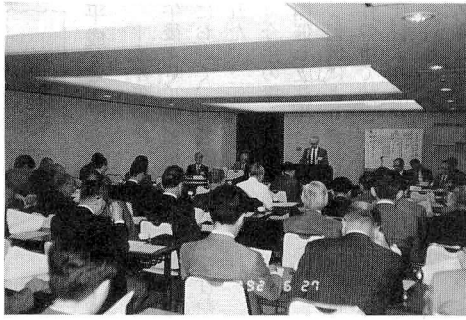
平成4年5月21日、応用科学研究所において、領収書、帳簿等関係書類を慎重に監査し、支出及び決算が適正であると認めました。

常任幹事 板谷良平

平成4年度支部交付金

(単位:円)

Table with 4 columns: 支部名, 交付金額, 支部名, 交付金額. Rows include 北海道, 東北, 東京, 中部, 北陸, 関西, 中国, 四国, 九州, 計.



平成3年度名簿広告募集状況

(単位：円)

支 部 名	件数	総 額	本部納入額	支部収入額
東 京	75	4,990,000	1,996,000	2,994,000
関 西	55	3,360,000	1,530,000	1,830,000
中 国	31	1,730,000	715,000	1,015,000
四 国	11	550,000	125,000	425,000
九 州	5	300,000	0	300,000
中 北	2	100,000	0	100,000
支 部	1	50,000	0	50,000
計	180	11,080,000	4,366,000	6,714,000
平成元年度	170	8,190,000	3,141,000	5,049,000

洛友会役員

変更通知

6月27日日本部総会において左記のとおり退任(退)及び新任(新)が承認されました。

記

会 長 昭13 大谷泰之 (新)
副会長 昭13 大谷泰之 (退)

幹 事 講大10 越坂延夫 (死亡)
講大10 荒井一郎 (死亡)

昭30 岡田隆夫(退教室)
昭30 木村磐根(新教室)

右記以外の役員(顧問、副会長、幹事及び常任幹事)は変更ありません。

東京支部

役員改選通知

平成4年度東京支部総会において左記の通り役員の変更がありましたので通知致します。

記

支 部 長 昭26 笹岡健三(退任)

副支 部 長 昭27 重本直三(新任)

総務幹 事 昭28 武藤良介(新任)

昭47 杉山 守(退任)

昭48 谷口治人(新任)

昭49 嶋谷吉治(新任)

会計幹 事 昭49 嶋谷吉治(新任)

四国支部

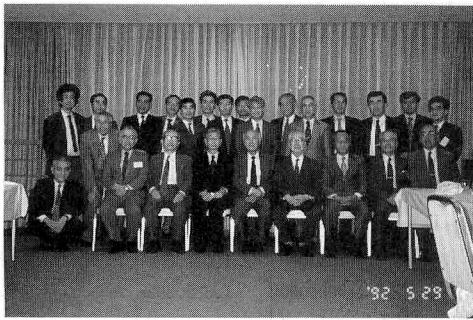
役員改選通知

平成4年度、第37回洛友会四国支部総会において左記の通り役員の変更がありましたのでここに通知致します。

支部総会

九州支部総会

5月29日(金)大谷会長代行、西川先生をお迎えして平成4年度九州支部総会を開催した。



記

支 部 長 昭22 船越孝夫(留任)

副支 部 長 昭28 近藤耕三(留任)

幹 事 昭30 高橋義造(退任)

昭41 修川上 博(新任)

昭41 森田 肇(留任)

昭42 今岡幹典(退任)

昭43 願化敏彦(新任)

場を変えて、会食を混じえての総会議事に入りました。

常連の方、久しぶりの方そして九州に赴任して初めて参加の方、全員が終始、打ち解けた和やかな雰囲気の中での会合となりました。

また、名跡太宰府に居を持つ上田支部長は、最近郷土史に深い関心を示され、自から取材した「我が家の近在に眠れる太宰府の史跡」(仮題)をスライドにより解説された。一同、支部長の熱意と郷土史の再発見に驚嘆しました。

次に、会食中に、平成4年度の行事の紹介(昼食回4回、ゴルフ大会1回)および各自の年令にふさわしい内容豊富な近況報告を全員にしてもらった。

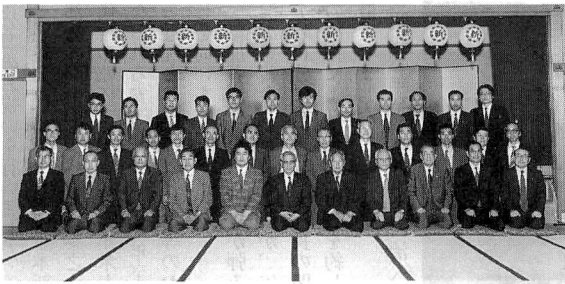
会も最高潮に盛り上がったところで残念ながら時間となり、名残りを惜しみつつ散会しました。

(昭和43年卒真部利忠記)

四国支部総会

5月29日(金)、高松市内の旅館「新常磐」において第37回洛友会四国支部総会が開催された。本部から近藤名誉教授、教室から奥村教授の御出席をいただき、四国内から35名の会員が集まった。

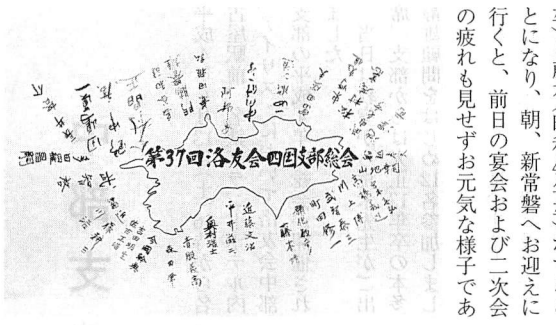
総会は船越支部長の挨拶で始まり、今回欠席された大先輩の近況報告や、この一年間に四国外に転出された方の消息、また昭和23年卒の今村晶正氏が今春、藍綬褒章を受章されたという紹介があり、



第37回 洛友会四国支部総会 平成4年5月29日 於新常盤

出席者全員でお慶びを申し上げた。次に近藤先生より挨拶があり、6月の本部総会にて大谷先生が洛友会会長にられる予定等が披露された。また奥村先生からは電気系教室の近況や今年の卒業生の就職状況などのお話があった。引き続き会務、会計報告、予算案審議の後、支部役員の改選を行なった。その結果船越支部長、近藤副支部長および森田幹事は留任され、川上、願化の両氏が新幹事に就任された。

その後、今回新会員となった平成4年卒の東野君(四国電力)の自己紹介があり、無事終了した。引き続き懇親会に入り、先生方との歓談や久しぶりに顔を合わせた先輩や友人と酒を酌み交しながらの談笑など、楽しいひとときを過ぎた。最後に全員が肩を組み、恒例となった「逍遙歌」と「琵琶湖周航の歌」の合唱で終了した。その後、両先生、近藤副支部長をはじめ有志17名は街にくり出し、深夜まで電気工学談義に花を咲かせたり、自慢の喉を披露しあった。翌日、近藤先生は昨年に続いて四国八十八ヶ所に参拝、奥村先生はレオマワールドへ観光された。



5月30日(土)近藤先生の八十八ヶ所参りのお伴は武智(昭和43年卒)と藤本(昭和49年卒)がすることになり、朝、新常盤へお迎えに行くと、前日の宴会および二次会の疲れも見せずお元気な様子であった。志度の見物を終え、あい変わらず不安定な天気の中を、先日開通したばかりの高松自動車道を西へ向い、丸亀市内で昼食、休息をとり、第66番札所雲辺寺へ向った。雲辺寺は標高約千メートルの札所で最も高い所にあるが、約2.6kmのロープウェイにより7分間で一気に頂上まで上がることができる。ゴンドラの中は、我々を除き全員が白装束の遍路姿であった。

本堂でお参りの後、雲辺寺は2回目という近藤先生に逆に案内され、小高い丘に上った。幸い雨もあがり晴れ間も見える天候となり、遠く瀬戸内海がさすみの中にうっすらと見え、平地に点在するため池が白く輝いているすばらしい景色に、先生も「満足の様子で、我々も一日の疲れがふつ飛んでしまいました。雲辺寺から第67番札所大興寺に立ち寄り、16時過ぎに無事坂出駅に到着、先生はお疲れのご様子も

東京支部総会

なく、マリンライナーで京都へ帰られた。また奥村先生には今岡(昭和42年卒)と宮本(昭和60年卒)がお供して、昨年オープンした大型レジヤランドの「レオマワールド」に向けて出発した。あいにくの天気であったが園内では探検艇に乗って極地体験が楽しめるアトラクションやタイ、プータン、ネバー

ルの寺院等の文化遺跡の見学をされ大変お気に入りの様子であった。園内で琵琶の生演奏を聞きながら北京料理の昼食をとられ、園内観光やジェットコースターなど時間の許す限り楽しまれた後、16時過ぎ、無事に坂出駅からJRにて帰京された。

(昭和60年卒宮本喜弘記)

平成4年6月6日(土)、八芳園にて東京支部評議員会、支部総会、ならびに懇親会を開催いたしました。

支部総会への出席者は83名であり、本部からは大谷泰之会長代行、教室からは田丸啓吉先生の方々をお迎えしました。

支部総会は、笹岡支部長の挨拶に始まり、平成3年度の行事報告、決算報告が行われ、本年度より本部副会長(東京支部選出)として池上文夫先生を選出の後、平成4年度の新役員の選出、平成4年度の行事計画および予算が審議されました。

また、平成4年に米寿・喜寿を迎えられる方々(米寿3名、喜寿





12名のお祝いを行いました。
懇親会は、東京支部の重本新支部長の開会の挨拶、大谷泰之会長代行の乾杯で始まり、今年米寿にえられる安達彦様(昭和4年卒)から近況と健康維持のコツ等のお話を伺いました。
参加者間で大いに話しが弾み盛況な懇親会となりましたが、午後7時15分に武藤新副支部長の開会の挨拶により来年の再会を約して散会しました。
(昭和48年卒総務幹事谷口治人記)

中部支部総会

平成4年6月13日(土)16時から名古屋駅前、名鉄グランドホテル内「アイリス」において洛友会中部支部の平成4年度総会が開催されました。

当日は教室から荒木先生がご出席、支部からは大正13年卒の本多静雄顧問をはじめ12名参加しました。

総会では、昨年度の事業と決算新役員の選出(全員留任)及び今年度の事業案ならびに予算案について審議され、次の行事が承認されました。

- 一、懇親開基大会 7月18日(土) 13時 於ベルサロン
- 二、懇親ゴルフコンペ 9月5日(土)
- 三、家族同伴秋の例会 11月14日(土)

(詳細別項各支部行事予告参照)
議事終了後、荒木先生から教室の近況、新卒業生の就職状況ならびに学制改革などについて報告がありました。

引き続き懇親会に移り、本多顧問から本日の参加会員全員に配られた、名古屋の狂言面について説

明がありました。顧問の伝統芸能に対する造詣の深さとその創作意欲に一同感銘、昭和8年卒川端太郎氏は俳句の先生格、「俳句の一

関西支部総会

平成4年度の関西支部総会は6月27日(土)16時からJR京都駅南側のホテル京阪京都において開催された。今年には本部総会と同時開催ということもあり昭和6年卒業の大先輩から今年卒業の新会員まで同伴2名を含め69名の会員が集まった。

支部総会では森井支部長の挨拶に引き続き、平成3年度の事業報告ならびに決算報告、平成4年度事業計画ならびに予算について提案が行われ、承認された。

支部総会、本部総会終了後の懇親会では大谷新会長のご挨拶のほか中部支部の大野支部長や諸先輩の方々、今年卒業の新会員からご

番良いことは死の瞬間まで続けられること」

「これは是非他支部会員にも聴いていただきたいもの」と会報に投稿していただくようお願いしました。唯一人の若手会員の平成元年卒豊田章人氏は「昨年は研修のため出席できなかった。土曜日でも新会員はやはり無理でしょう。来年からは是非出席したい。」との

こと。総会の出席者が固定化し、とくに若い人の出席のためにはどうしたら良いか、難しい問題です。そのほか会員の近況報告、先生との懇談と楽しい一時を過ごし、素晴らしい御土産、名古屋の狂言面」を手にし、帰路に就きました。

(昭和26年卒幹事石川進記)

最後に松田先生がお作りになった洛友会の歌を全員で歌い、お開きとなった。

(昭和46年卒会計幹事辻村順一記)



各支部行事 (予告)

一、関西支部行事

①第58回ゴルフ競技会10月25日

武庫之台ゴルフ場 10組
連絡先幹事 関電津田まで

②家族見学会

恒例の家族見学会は秋に計画しております。決定次第案内状を送付しますのでご期待ください。



二、中部支部行事

①懇親ゴルフコンペ

期日 9月5日(土) 4組
場所 名古屋グリーンCC
会費 2万3千円(当日)

②家族同伴秋の例会

久振りの船旅、「椰子の実や万葉の歌碑」のある渥美半島伊良湖岬に歴史とロマンの香りをたずねます。昼食は花の村。奮ってご参加ください。

日時 11月14日(土) 9時30分
出発、18時50分頃帰着

集合 名鉄メルサピルの西口
(瀬戸観光貸切バス)

会費 大人6千円、児童3千円



同窓会だより

六十周年記念

クラス会

昭和7年入学の私ども、同期生は本年60周年の意義ある歳を迎えましたので、これを記念すべく去る5月20日午後、洛北のホテルに集合した。久々の顔合せに感激し長寿を喜びました。幸に、五月晴れの好天に恵まれ即刻夫々2、3時間の予定で近傍の植物園等の観光散策に出掛けて新緑の風情を満喫して夕刻またホテルに参集しました。

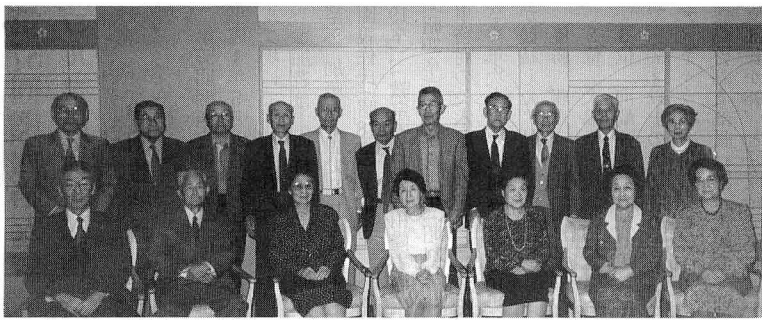
夜は6時より総勢18名が、会場内の宴席に着き懇親パーティーを開始、各位の近況報告等から酒宴は大いに盛り上がり、和気あいあい更に良き学制時代から今日まで60年にわたる人生の追憶に花が咲き思はず傘寿の齢を忘れて、9時までの3時間にわたり、誠に楽しい雰囲気のもと有意義な60周年記念会を終え、別れを惜しみつつ再会を約して解散しました。同夜はホテルに夫々宿泊、翌朝任意に出発しました。

尚會員の内、常連の4名は予約済のゴルフ場にて早朝よりプレーを楽しみ、これまた次回の会合を

約して解散しました。

ちなみに今回の出席者は次の通りです。(敬称略、記念写真参照)

神谷進・北村芳雄・黒田治夫・黒田麟八郎・塩澤弘・田村誠一・高木正・殿井不二雄・中堀孝志夫妻・林潔夫妻・藤本悟郎・和久利保・和田寿太郎・有馬智恵子・荻野愛子・香山典子・城戸桃子 以上
(和日記)



昭和21年

入学者クラス会

私達は毎年クラス会を開催していますが、今年は5月23日(土)24日(日)小学校修学旅行の思い出の地、伊勢神宮に参拝いたしました。23日は関西電力(株)様のご厚意により、同社施設に宿泊しました。宴会は北野ご夫婦の滞米3年の土産話をはじめ、賑やかに歓談が夜が更した。



翌日はバスで神宮の守護者である金剛証寺、二見ヶ浦を見学し、松坂で解散しました。

参加者は安房淳夫、伊藤薫、北野豊、野村精二、浜田浩、森井清二、西田富士夫、以上夫人同伴。安藤慶一、飯田義直、生駒鏡郎、岩村衛、近江昌三、小原猛、太田弘、佐野喜蔵、中野稔、舟田正男、松村長延、吉田祝雄、以上単身、合計26名

帰洛会

(昭和27年卒)報告

去る5月23、24日の両日、京都にて卒業40周年記念会を開催しました。まず、紫野大徳寺大仙院にて尾関管長の禪話を拝聴し、続いてホテル京阪にて恩師の御光栄を仰いで懇親会に臨み、卒業生一同恩師のお元氣なお姿を慶び、その警咳に接して往時の学生時代をなつかしく振り返りました。

翌日は案内人付きで奈良の古刹を拝観、同日午後現地にて散会しました。

恩師並びに参加者は左記の通りです。

恩師、清野武先生、大谷泰之先生、池上淳一先生、上之園親佐先生、



近藤文治先生、卒業生(五十音順)は夫人同伴、青木信雄、猪川道生、伊東功裕(同)、上田保之(同)、遠藤茂(同)、大家郁夫(同)、加子泰彦、門元啓五、木村陸朗、栗原英三(同)、重本直三(同)、鈴木郁朗(W)、塚本昭三、辻野昭夫、東松孝臣、仁木可也、根来恵作、林宗明(同)、原周作、堀謙二郎、室賀弘、吉原久雄、以上
(帰洛会幹事一同)

支部だより

四国支部

支部会員数87名、四国外に転出者4名、田所亀四郎(講T11卒松元電気産業顧問↓大阪府吹田市)西村佳寿雄(昭26卒愛媛県川内町↓昭63年横浜市へ転出、平成3年死亡)細見清(昭35卒三菱電機(株)西条工場長↓北伊丹製作所副所長)石川道博(昭45卒住友化学工業(株)愛媛工場↓東京本社)転入者1名、東野克俊(平4卒四国電力(株)総合研修所)その他、今村晶正(昭23卒(株)四電工取締役社長、平成4年5月18日藍綬褒章 受章された。以上



第57回関西洛友会ゴルフ競技会報告

津田雅彦 昭38卒

第57回関西支部ゴルフ競技会は、平成4年5月24日(日)武庫之台ゴルフ場にて開催された。参加者は、西村正太郎氏(昭16卒)、加藤孝一氏(昭16卒)、上之園親佐氏(昭18卒)、大嶋幸一氏(昭19卒)、教室からは岡田隆夫先生(昭30卒)、長尾真先生(昭34卒)、事務局の矢木原邦雄氏など38名で卒業年次を合せた組み合わせで10組が競技した。結果は、優勝 藤島 啓氏(昭25卒) 2位 大嶋幸一氏(昭19卒) 3位 河崎達夫氏(昭34卒) 60才以上の参加者の年令ハンディキャップに関係なくグロスで藤島啓副支部長は89、大嶋幸一前支部長が98、と好成绩で優勝、準優勝された。日頃の實力を發揮され立派です。これで面白くなった若い方も参加し遠慮なく實力競技しましょう。次回第58回は、平成4年10月25日(日)武庫之台ゴルフ場にて開催の予定です。多数のご参加をお願いします。世話役関西電力(株)Ⅷ06-411-8821(企画部津田まで

お詫びと訂正

一、洛友会会員名簿
1頁107昭和28年卒業の松村晋勤務先に追加記入方
関西電力(株)総合技術研究所嘱託Ⅷ06-491-0221
〒661尼崎市若王寺3-11-20
2頁17京都大学電気系教室：教職員名簿の京都大学Ⅷを訂正方(075-753-753)

3頁11東京支部、頁13北陸支部、頁14東北支部の各副部長を副支部長に訂正方。
二、洛友会会報(第159号)4月号
1頁(3)教官の異動の小野寺秀俊氏と野田進氏の講師よりを助手よりに訂正方。
以上謹んで訂正致します。

編集後記

盛夏の頃となりました。今年は梅雨あけが遅れるようですが京都の祇園祭、大阪の天神祭等各地の夏祭りが盛大に行なわれています。本7月号は総会特集のようになりましたが本部では大谷新会長が就任されました。洛友会の若返り活性化を期待すると共にお元気で頑張ってください。会員一同心からお祝い申し上げます。また今年は各地区8支部で総会が開催され、それぞれ役員改選や行事計画が決まりました。詳細は

各支部総会報告等参照ください。中国・北海道・東北支部の総会報告は次の10月号に掲載いたします。各支部行事にはぜひ、会員相互の交流と親睦のため多数のご参加を希望します。
次の10月号巻頭言は東京支部の重本直三新支部長にお願いしております。支部だよりは中国・東京・東北支部より寄稿方よろしくお願ひします。
(事務局長矢木原邦雄記)

訃報

- 講大10 荒井一郎 4.3.23
 - 講大12 富松義一 元.10.4
 - 講大12 宮地初次 2.4.3
 - 講大14 塩見謙一 4.3
 - 大14 水内 浩 4.2
 - 講大15 淵田広幸 4.3.8
 - 講昭2 仁丹良三 4.3.15
 - 講昭3 上村貞一 3.5.24
 - 講昭4 星 山 止 4.5.8
 - 昭5 福井佐市 4.4.20
 - 講昭7 三田徳平 4.5.8
 - 昭9 松井茂彦 3.10.31
 - 講昭9 沢村三郎 4.3.22
 - 昭10 佐々木卓夫 4.4.26
 - 昭11 横田義夫 4.6.22
 - 昭13 真弓克巳 4.3.22
 - 昭16 角 田 章 4.3.8
 - 昭26 西村佳寿雄 3
- 以上の方々がご逝去なさいました。謹んで哀悼の意を表します。